

プレス発表資料

平成24年6月27日
独立行政法人 防災科学技術研究所

日本列島の地震に関する「今」を配信する新たな

Web サイト (防災地震 Web) を公開

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長 岡田義光。以下、防災科研）は、防災科研が整備・運用している地震観測網が日々捉えているリアルタイムの地震情報を配信する新たな Web サイト『防災地震 Web』を2012年7月2日に公開いたします。防災地震 Web は、一般の方でも親しみやすく日本列島の地震に関する「今」の情報を一目で把握できるようにデザインされています。大きな地震が起きた時は勿論、平常時から興味を持っていただけるように工夫されており、また、防災科研が発信する多くの地震に関する情報や最新の研究成果のリンクポイント（参照元）としても活用いただけます。

URL : <http://www.seis.bosai.go.jp/>

1. 内容 : 別紙資料による。
2. 本件配布先 : 文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

<内容に関するお問い合わせ>

独立行政法人 防災科学技術研究所
観測・予測研究領域
地震・火山防災研究ユニット
地震・火山観測データセンター長
青井 真
電 話 : 029-863-7626
e-mail : aoi@bosai.go.jp

(連絡先)

独立行政法人 防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ
大石 恵章
電 話 : 029-863-7783
F A X : 029-851-1622

日本列島の地震に関する「今」を配信する新たな

Web サイト（防災地震 Web）を公開

1. 概要

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長 岡田義光。以下、防災科研）は、防災科研が整備・運用している地震観測網が日々捉えているリアルタイムの地震情報を配信する新たな Web サイト『防災地震 Web』を 2012 年 7 月 2 日に公開いたします。防災地震 Web は、一般の方でも親しみやすく日本列島の地震に関する「今」の情報を一目で把握できるようにデザインされています。大きな地震が起きた時は勿論、平常時から興味を持っていただけるように工夫されており、また、防災科研が発信する多くの地震に関する情報や最新の研究成果のリンクポイント（参照元）としても活用いただけます。

URL : <http://www.seis.bosai.go.jp/>

2. 地震観測網

防災科研では、地震による地面の揺れの様々な特徴を捉えるため、3 種類の地震計を用いた地震観測網（高感度地震観測網 Hi-net^{*1}、広帯域地震観測網 F-net^{*2}、強震観測網 K-NET/KiK-net^{*3}）を整備、運用しています。これらの観測データや解析結果はリアルタイムに処理されており、各観測網の Web サイト^{*1, *2, *3}を通じて情報発信されています。

3. 防災地震 Web

2011 年 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震以降、日本全国で活発な地震活動が続いています。地震に関する一般の方の関心が高まっていることから、従来の比較的専門性の高い情報に加え、一般の方でも親しみやすい Web サイトとして、『防災地震 Web』を開設することに致しました。

防災地震 Web は、

1. 最新 24 時間の震源分布
2. 最新の地震の震源情報（AQUA システム^{*4}）
3. 現在の日本列島の揺れを示す強震モニタ^{*5}

の 3 つのリアルタイム地震情報を並べて見やすく表示しており、一目で日本

列島の「今」の地震の情報を把握することができます。これらの情報は常に自動更新されるため、いつでも最新の情報を確認することができます。さらに、「最近の大きな地震」に関する震源情報や揺れの分布、また過去の大地震の特集ページなどをご覧いただけるようになっています。

防災地震Webは、<http://www.seis.bosai.go.jp/>から、どなたでも無料でご覧になれます。

あわせて、従来上記 URL で公開していた『地震観測網ポータル』を一新しました。さらに詳細な情報を得たい場合には、内容がより充実した『地震観測網ポータル』をご参照ください(防災地震 Web からリンクが張られています)。

『地震観測網ポータル』からは、地震観測情報や観測網のデータを用いた研究成果についての記事が一元的に公開されており、このサイトから防災科研が配信する様々な地震情報に簡単にアクセス出来るようにデザインされています。

最新 24 時間の震源分布

防災地震Web
Site of Earthquake Information Service
NIED 独立行政法人 防災科学技術研究所

最新 24 時間以内に発生した地震
2012/06/24 10:45 ~ 2012/06/25 10:45

現在の日本列島の揺れ (強震モニタ)
Realtime Sindo (Surface)
2012/06/25 10:52:26

最新の震源情報 (AQUA)
2012年06月25日(月) 10時38分 (13分前)
場所 茨城県沖
深さ 48km
マグニチュード 3.8

最近の大きな地震
2012年06月18日(月) 05時32分に、
宮城県沖の深さ49kmでマグニチュード6.2の地震が発生し、
宮城県、岩手県で震度4を観測しました
情報更新日: 2012年06月19日

地震観測網ポータル
NIED Seismograph Network Portal

NIED 独立行政法人 防災科学技術研究所
情報公開基準 利用規約・免責事項 copyright © 2012・独立行政法人防災科学技術研究所

現在の日本列島の揺れを示す強震モニタ

最新の地震の震源情報 (AQUA システム)

最近の大きな地震に関する情報

地震観測網ポータルへのリンク

防災地震Web : <http://www.seis.bosai.go.jp/>

用語説明：

1. 高感度地震観測網 Hi-net : <http://www.hinet.bosai.go.jp>

地面の微弱な振動まで高い精度で計測できる地震計を全国約 800 点に配置した地震観測のネットワークです。人間活動などによる雑音（ノイズ）を避けて微小な地震波をとらえるために、地中に掘った井戸（ボアホール坑）の中に地震計を置いて観測しています。井戸の深さは多くの点で数 100 メートルですが、都市部などでは 1000～3000 メートルに達する深い井戸も用いられています。大地震から微小地震まで地震の発生個所の特定や地球の内部構造の解明などの基礎的な研究のほか、気象庁から発表される緊急地震速報にも貢献しています。

2. 広帯域地震観測網 F-net : www.fnet.bosai.go.jp/top.php?LANG=ja

様々な周期の揺れを正確に計測できる地震計を全国約 70 ヶ所に配置した地震観測のネットワークです。ノイズを避けるために、硬い岩盤に掘られた横坑の中に地震計が設置されています。地震の発生様式（メカニズム解）の推定や地下の非常に深い領域まで含む地球の内部構造の解明に用いられています。

3. 強震観測網 K-NET/KiK-net : <http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin>

K-NET は地震被害をもたらす強い揺れまで計測できる地震計を島嶼部まで含めた全国約 1000 点に配置した地震観測のネットワークです。得られた記録は、大地震直後の初動態勢の確立や、過去の地震で強い揺れを引き起こした原因の究明と将来の地震による強い揺れの予測など、地震災害対策に活用されています。一方、KiK-net も K-NET と同様に強い揺れを計測する地震観測のネットワークですが、Hi-net と共に設置されているため地表だけでなく井戸（ボアホール）の中にも地震計が配置されています。地表と地中で同時に得られた記録は、揺れを強くする大きな要因である地表付近の地盤の影響に関する研究にも役立っています。

4. AQUA システム

Hi-net および F-net のデータを利用して、比較的大きな地震を対象に地震発生位置（震源位置）、地震の規模（マグニチュード）、メカニズム解を即時的に自動推定するシステムです。地震検知後数秒～数十秒で震源位置、マグニチュードが推定され、数分から 10 分以内にメカニズム解が推定されます。

5. 強震モニタ

全国の強震観測網の地震計で観測した今現在の揺れを、そのままに近いかたちで配信している Web サービスです。揺れの大きさに応じた色のついた点を地図上に表示し 2 秒毎に更新することで、動画として地震の揺れの伝わる様子が直感的に理解できるように工夫されています。より詳しくは、今年のプレスリリース（平成 23 年 6 月 21 日）をご参照下さい。

(http://www.bosai.go.jp/press/2011/pdf/20110621_01.pdf)